

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒澤大学	10	2	3	39	13	+26	33
2	法政大学	8	2	5	27	16	+11	29
3	筑波大学	7	4	4	33	19	+14	25
4	国士舘大学	7	4	4	19	17	+2	25
5	順天堂大学	6	6	3	26	24	+2	21
6	東京農業大学	5	5	5	15	24	-9	20
7	流通経済大学	5	6	4	15	23	-8	19
8	明治大学	5	7	3	19	23	-4	18
9	東京学芸大学	5	8	2	19	22	-3	17
10	中央大学	4	7	4	23	26	-3	16
11	亜細亜大学	4	7	4	13	22	-9	16
12	日本大学	2	10	3	14	33	-19	9

国士舘大学はリーグ戦後に勝ち点 - 7 とする

得点ランキング

- 10 ゴール 市川雅彦(法大)
- 9 ゴール 赤嶺真吾(駒大)
- 8 ゴール 原一樹(駒大)
- 7 ゴール 宮崎大志郎(駒大)
- 6 ゴール 福士徳文(順大)
- 他 2 名

アシストランキング

- 11 アシスト 藤本淳吾(筑波大)
- 6 アシスト 石川高大(東農大)
- 5 アシスト 赤嶺真吾(駒大)
- 巻 佑樹(駒大)
- 鳥田祐輝(駒大)
- 高野耕平(東学大)



2 点目を生んだ赤嶺、巻のFWコンビ。巻が落として赤嶺が決める“理想の形”でチームを勝利へ導いた
流経大の難波と空中戦を演じる廣井。強力FWに対して落ち着いて対応

ジェルテックカップ インディペンデンスリーグ戦 2005 【関東】(後期)

駒澤大学 0 - 1 R K U . U - 2 2



【左】試合後、仲告コーチの話に耳を傾ける選手たち

【撮】水田博義

途中中3バックにシフトし、左サイドバックから左サイドハーフでプレイした鳥井、全体的に良くなかったと試合を振り返った
【前】前半攻撃の起点となっていた田村。果敢に攻撃を仕掛けるもゴールは生まれなかった。本人もFWとして何も仕事が出来なかったことが一番悔しいと悔やんだ



全ては公式戦出場のために

前日の台風の影響による強風、グラウンドの水たまりといった悪コンディションの中、インディペンデンスリーグ後期対流経大戦が行われた。
前半の序盤から駒大はロングボールを多用した試合展開を見せるが、「風下でDFの裏に蹴るのが難しかった」と奥野が語るように、なかなか思うようにボールを運べず中盤でのボールの奪い合いが続いた。FWの田村が攻撃の起点となりチャンスを狙うが、なかなかゴール前まで持ち込むことができない。ベンチから「シュートを打て」と檄を飛ばされるが、駒大のシュート数は数えるほどだった。前半終盤に差し加かり、流経大の怒涛の攻撃に襲われた駒大。何回もDFを突破され危ないシーンを作ってしまった。そして32分、相手選手が打ったシュートがDFに当たり、そのままゴールへ吸い込まれ1点を許してしまう。その後も流経大の攻撃は続いたが、何とか守りきり1-0で前半を終えた。

後半も、前半と同じような試合展開が続く。「球際や競り合いをもっと強



2005年9月25日 青山学院大学緑ヶ丘グラウンド
インディペンデンスリーグ2005(後期)
駒澤大学 1 - 0 R K U . U - 2 2
【得点】() はアシスト
【R】32分金 宏明
【メンバー】
GK 矢田雄基
DF 武田憲明、奥野拓也、平松俊輔、鳥井勇作
MF 隅田翔、山崎良介、加藤正樹(覚張真也)、椿原徹也(桐原崇弘)
FW 田村貴之(須田貴皓)、宮田潤(森本勇一)

(大川 菜都美)